

# 防災あいずみ

令和2年1月15日発行 第27号

発行元：藍住町総務課危機管理室

電話637-3111

## 総合防災訓練を開催しました！

10月20日、「自らの命は自らで守る」という自助の意識啓発をテーマに、町民体育館で総合防災訓練を開催し、関係者を含む848人が参加しました。



会場では、水消火器を使った消火訓練、地震体験車での過去の地震体験、災害対策車両の展示、心肺蘇生法の体験など防災に関する様々な訓練や体験コーナーのほか、婦人防火クラブによる炊き出し訓練を実施しました。

また、今回初めて、中型水陸両用車の展示、災害用ドローンの試験飛行・操縦模擬体験を実施し、住民の皆さんに見学・体験していただきました。

災害発生時は、住民の皆さんが「自らの命は自らで守る」(自助)、「自分たちのまちは自分たちで守る」(共助)意識を持って、自らの判断で避難行動などの防災対応をとることが重要です。

今後も、防災訓練などを通じて防災対策の基本となる自助、共助の意識の啓発を図っていきます。



## 救急医療電話相談「#7119」をご存知ですか？

夜間・休日などの急な病気やけがの際、家庭でどのように対処すればよいか、すぐに医療機関を受診した方がよいかなど判断に迷ったときに、看護師等へ相談ができるようになりました。

プッシュ回線の固定電話、携帯電話、スマートフォンからは局番なしの「**#7119**」を、その他の電話からは「**088-622-6530**」で相談してください。

### ●相談時間

月曜日から土曜日 午後6時から翌朝8時まで

日曜日、祝日、年末年始(12月29日から1月3日) 24時間対応

※15歳未満のお子さんが急な病気やけがをしたときは、「徳島子ども医療電話相談(#8000又は088-621-2365)」にお電話ください。



## 東小学校親子防災講座を開催しました！



10月25日、参観日を利用して東小学校で親子防災講座を開催しました。

この講座は東小学校の校区が南海トラフ巨大地震による津波浸水区域となっているため、防災意識の啓発や防災知識の向上を目的に行いました。

保護者の皆さんは、町担当者から避難所にある備蓄物資の状況について説明を受けたほか、板野東部消防組合の指導の下、心肺蘇生法や消火訓練、ロープワークなどを体験しました。

また、5・6年生の児童は、地震体験車を用いた過去の大きな地震の体験や消火訓練、防災クイズに参加しました。さらに、藍住町と災害協定を結んでいる株式会社フジタ建設コンサルタントの協力の下、災害用ドローンの実演訓練を見たり、模擬操縦を体験したりしました。

参加者からは、1時間程度の短い講座でしたが、実践的で非常に役に立つ講座だったなどの感想がありました。

今後も子供達が、防災について楽しく気軽に学べるような取組を行っていきます。



## 夏休み防災自由研究入賞者のお知らせ

今回で6回目となった夏休み防災自由研究には、町内各小学校から64点ものご応募がありました。

作品は、非常持ち出し袋の中身の見直しやペットの避難リュック、防災センターでの体験についてなど、様々な視点から取り組まれたものでした。また自由研究を通して、災害を身近に感じることができ、防災への関心が高まったという感想が多くありました。

令和元年度の入賞者は、次の皆さんです。たくさんのご応募ありがとうございました。

賞	学校名	学年	氏名
最優秀賞	東小	6	形部愛琉
優秀賞	北小	6	森 ゆらら
優秀賞	北小	6	森 さくら
入選	西小	3	高根羽央
入選	南小	3	梶本昂汰
入選	北小	5	曾我依里香

(敬称略)

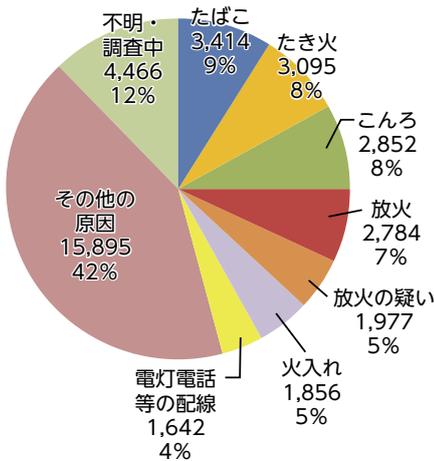


# 火災に気を付けよう！

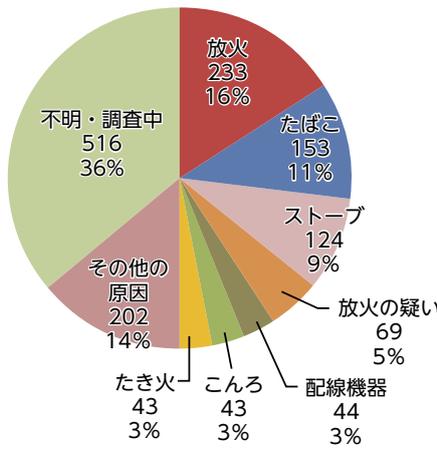
平成30年の1月から12月までの全国総出火件数は、37,900件でした(消防庁)。これは、おおよそ1日あたり104件、14分ごとに1件の火災が発生したことになります。また、住宅火災の出火原因別死者(放火自殺者等を除く)について多い順に **1番目：たばこ**、**2番目：ストーブ**、**3番目：配線器具**と気を付ければ防ぐことができる火事が多いことがわかります。

特に冬場は火災が増加します。次の火災予防チェックシートを利用して、家庭の火事を防止しましょう。

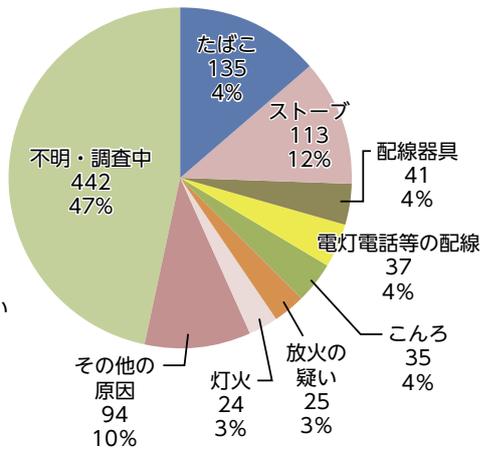
**出火原因**  
全火災37,981件の内訳



**全火災の出火原因別死者**  
1,427人の内訳

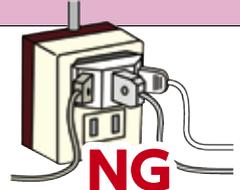


**住宅火災の出火原因別死者数**  
(放火自殺者等を除く)  
946人の内訳



## 平成30年(1月～12月)における火災の状況(確定値)

### 火災予防チェックシート

①たばこ	
<input type="checkbox"/> 寝たばこはしていないか <input type="checkbox"/> 灰皿に吸い殻はたまっていないか ※努めて水を入れましょう <input type="checkbox"/> 吸い殻は完全に火が消えているか ※捨てるときは水につけてから	
②ストーブ	
<input type="checkbox"/> カーテンや家具等、燃えやすい物の近くにストーブを置いていないか <input type="checkbox"/> ストーブの上に洗濯物を干していないか <input type="checkbox"/> ストーブに給油するときは、必ず火を消してから行っているか <input type="checkbox"/> 給油する燃料は間違いがないか	
③電気配線器具	
<input type="checkbox"/> 使用しているコンセントにほこり等が付着していないか <input type="checkbox"/> タコ足配線はしていないか <input type="checkbox"/> 電気ランプ等、熱をもつ電気器具の上でタオル等を干していないか <input type="checkbox"/> 壊れた又は壊れそうな電気器具を使用していないか ※コードの劣化	
④こんろ	
<input type="checkbox"/> こんろの周りに燃えやすいものを置いていないか <input type="checkbox"/> ガスホースは劣化していないか <input type="checkbox"/> 換気扇は掃除されているか <input type="checkbox"/> 近くに消火用具は設置してあるか	

## 総合文化ホールが開館しました！

文化芸術を活用した世代間交流の促進、保健福祉との連携など文化ホール機能と行政機能を複合した公共施設「藍住町総合文化ホール」の開館記念式典が11月3日に行われ全館開館しました。

それに伴い危機管理室では、総合文化ホールを福祉避難所※として指定しました。今後は、災害時の快適な避難所運営をめざし、防災倉庫内の備蓄品や防災資機材の充実を図っていきます。

また、地震や水害等で本庁舎の機能が停止した際の代替庁舎としても総合文化ホールを指定しています。文化ホール内の1室を災害対策本部として使用できるよう、事前に防災設備を配備し、防災無線の放送や関係機関との相互通信ができるよう、整備を進めています。

### ※福祉避難所とは

高齢者、障がい者、妊産婦など避難所生活において特に配慮を要する方が滞在する施設です。

一般の避難所での生活が困難な方がいる場合に開設し、必要性の高い方から移っていただきます。



## 令和第3号「成長団地自主防災組織」結成！



会長 大原 良之氏

大地震などの大規模災害による被害を防止し、軽減するためには、日頃から一人一人が防災活動に積極的に参加するなどの地域住民による組織的な活動を行うことが大切です。

このようなことから、総務課危機管理室では本町の防災体制の充実、強化のため、自主防災組織の結成促進及び活動の活性化を図り、地域防災力を強化するとともに、災害に強いまちづくりを推進しています。

昨年度、成長団地の自主防災組織の現状説明を行い、休止状態であった組織を再活性化するための方針を決定し、団地内の意見を取りまとめました。

その後、成長会館で成長団地住民への説明会、出前講座の開催、規約、役員、班編成等が決定し、令和元年9月21日に大原良之会長の下34世帯の組織として、成長団地自主防災組織が結成されました。

今後は、各種防災資機材等の整備、防火・防災知識の普及啓発、地域の安全点検、防災訓練の実施などの様々な活動を行い、成長団地を中心とした「**自分たちの地域は、自分たちで守る**」という共助理念に基づき、家族や隣近所がお互いに協力し合い、地域が一体となった災害に強い地域づくりが期待されます。